蘭越町総務課職員渡辺・坂野・今野との面談記録

面談日：2023(R5)年10月3日

面談場所：蘭越町庁舎3階会議室

[坂野]

どの部分？

[野村]

あのね、また言葉で言わないとダメなんですか？

どの部分ですか？ぼく言ったでしょ？あなたが今まで僕と話をして、経緯を打ち合わせして、あなたが答えきれずに、当然、副町長が入るべき事案であることを、あなたも、認めていながら、認めていて、実際に「確かにそうだ」と同意していながら、完全にやり取りを翻して、なかったことにしてしまって、「『できない』と弁護士がそう言ってる」からと、主語を曖昧にしたまま。

それに対して、僕はしょうがないから、2時間かけて、記録をたどって、あなたに見せて、「あなた、おかしい。言ってることは。」こういう不快感を表明しましたよね？

[坂野]

「野村さんの言ってることは分かった」という同意をしたままで、私が「副町長を同席させる」とは言ってない。

[野村]

ちょっと待ってください。これね、いつも言ってる通り、僕はボランティアで、何百時間もかけて、やってるんです。公益のためです。自分の利益なんか、一つもないんです。一つもないですよ。自分のやりたいことを我慢して、仕事をしないで、こんなことに時間をかけてるんですよ。こんなことに。あなたが言った言わないで済まそうとするから仕方なく、記録をたどったり、今野さんが暴言を吐いていながら、それをシカトするから、しょうがなく、何時間もかけて、書き起こしたり、そういうことをいっぱい、僕はやってきてるよ。それでも、あなた方が全く正そうとしないから、

しょうがないから、裁判せざるを得なくなったんですよ。

僕が言ってるのは、あなた方は、お金もらってやってる話ですから、少しぐらい我慢して。僕の時間に付き合うことに、少しぐらいは。あなた方、給料もらってやってる話だから。仕事の一環として、

(通話記録を見ながら) 8月22日の電話において、坂野さんはJ R Tの応対記録を取っていないことの正当性を求める私の質問に答えることができず、町長または副町長を同席させることに同意しています。通話記録は全文を添付します。

通話記録・・・全文読み上げませんけどね。ここで僕が問題としてるのは、あなた方は、町は、僕がチセヌプリのことで、情報公開を求めるまでは、そこそこちゃんと記録を録ってたよ。僕が、細かいことをつつき出してから、録らなくなった。一切録らなくなったよ。公然と。町長も副町長も、公然と録らなくなったよ。総務課長の小林さんもそうだよ。

その言い分は、「担当者が雑談だと判断したものは録らない」と。雑談かどうかの判断なんて、その人の腹一つなんですよ。腹一つで決められると。僕の調べる限り、そんなの通用しない。